

Aikou

2025年2月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘1-16-8

Tel 241-3860

「形のある大切なもの、形のない大切なもの」

チャブレン 山田 和人

1月の誕生日に、家族や友人からお祝いをしてもらいました。そして、何と、幼稚園のお友だちからもサプライズがありました！ 教室で子どもたちの輪の中に入り、お祝いのダンス、それに続いて、“Happy Birthday!”の歌のプレゼント。その日は降雪があり、雪で作ったいちごのケーキのプレゼントまで！ お日さまが顔を覗かせたせいで、形が崩れてしまった雪のケーキに子どもたちは残念そうでしたが、みんなの心が形になったケーキはまぶしく輝いていました。

親や教師は、この子らしく成長してほしいという願いをもって、子どもの養育や保育に関わっています。では、その子らしさとは何でしょうか。その人らしさを形成しているものは、その人が大事にしているものの内にあらわれます。「形のある大切なもの」、「形のない大切なもの」、「大切な活動」、「大切な人」。これらは言い換えると、その人の価値観を作っているものです。価値観は成長するに従い変化していきますが、根本にあるものは普遍の価値と意味を持っています。土台となる大事な部分はその人らしさとしていつまでも残るといことです。

「幼稚園の全部を使って」

園長 富樫 立子

先日の保育参観もありがとうございました。お子様と一緒に制作やゲームなど楽しみながらも、各々の成長を感じていただけたかな？と思います。幼稚園生活の中で日々大きくなっている子どもたちですが、愛香南部幼稚園での生活もあと32日なのです。今年はゆり組だけでなくたんぼ組すみれ組皆が愛香南部から卒園します。30日余りを子どもたちと毎日たくさん遊んで、いっぱい笑って過ごしたいと思っています。子どもたちからは、「幼稚園全部を使ってあそびたい」という提案があります。幼稚園のお部屋それぞれにいろんな思い出が詰まっていますよね。トイレや玄関、階段にも各々のエピソードがあるでしょう。それは今こうして大きくなっている成長の一つ。大切なものです。

今年の「表現会」は「お楽しみ会」と称して、思い出いっぱいの幼稚園全部を使っておうちの方と一緒に遊ぶ会にします。保護者の皆様も、お子様と一緒にいろんなことを思い出しながら楽しんでください。子どもたちとこれから準備していきますが、保護者の皆様もご要望があれば連絡帳、お声がけなどお待ちしております!! そして3学期終わりまで皆が健康で過ごせますよう祈ります。

クラススケッチ

すみれ組

お正月遊びや、サーキット遊び、だるまさんが転んだ等、ゆり組やたんぽぽ組と一緒に遊びました。はじめは、ちょっと難しく「できない〜ウッ…」と尻込みしていることもありましたが、見ているうちに自分もやってみたいという思いがムクムクと膨らんでチャレンジしたり、教えてもらって出来る様になると、繰り返し頑張る姿が見られ、出来ると、とっても嬉しそうでした。そんな様子を見ながら、改めて縦割り保育の良さを感じる事が出来ました。

さて、すみれ組の二人も冬休み中に3歳のお誕生日を迎えました♪甘えん坊さんの2人も『3歳のお兄ちゃんになったから出来る!』と、お手伝いしてくれることが増え、お片付けも上手になり、今までは「せんせいやって〜」と言っていたことも、自分でやってみようとするようになりました。それはとても嬉しいです。残り2か月弱、やりたい気持ちや、大きくなったんだという気持ちを大切にしたいと思います。そして、それぞれの自信に変えて次へのステップに繋げていけたらと思っています。

宮崎 詩世



あそびの中から

年初めに、コマやけん玉、羽根つき、だるまおとし、福笑い、百人一首で坊主めくりなど、お正月あそびをたっぷりと楽しみました。たんぽぽ組、すみれ組に人気だったのは、天井から吊り下げられた風船や羽根を羽子板でポンポンととばしていく遊びです。いろいろな方向にとんでいくのが面白い!! 「ちょっとまって」「せんせい〜みて〜」「つづけてOK! できたよ〜」と大喜び。空振りする姿も、微笑ましくとてもかわいかったです。

ゆり組さんはいろいろな遊びに挑戦!! その中でも一番難しかったのが、紐を巻いて回すコマ。紐を巻くのもなかなかコツがいるようでしたが、何回もチャレンジする姿はとてかわこよかったよ。

みんなよく笑ったのが福笑い。出来上がった顔を見て、大笑いしたり、「うまいね〜」と褒め合ったりと笑顔いっぱい時間を過ごしました。

櫻井 真澄



たんぽぽ組

3学期に入り、少しずつ朝の礼拝の中で聖書のお話に触れています。ページェントで演じたお話の続きなので、興味津々です。聖画を見ながら「これはなあに?」「どうして?」と質問してきます。友だちの質問に「こうじゃない?」と思ったことを話すなど、自分から考えたことを言葉にして伝えることも増えてきました。そしてお話をじっと聞いているのです。人の話を聞くことは子どもたちにとってとても難しいことです。でも、「イエスさまどうなったの?」と話している私の方がドキドキしてくるほど、私の顔を見て聞いています。お話を聞いて神様の愛を感じる時となるように願っています。

たんぽぽ組の3人はお祈りも大好きです。おやつのお祈りは必ず一人ずつ3人もお祈りを捧げます。朝の遊びのことなど今自分が神様に伝えたいことをしっかりと考え言葉にして祈るのです。3人それぞれの思いが聞くことができます。「おともだちとあそんでたのしかったです」「おやすみしていた〇ちゃんがげんきになりました」「かみさまありがとうございました」感謝の心を持つことや周りの人のことを祈ることなど目に見えない心が大きくなっていることをとても感じるこの頃です。

富樫 立子

ゆり組

先日、川上幼稚園へ遊びに行ってきました。「まえのゆりぐみさんしか、かわかみようちえんってないよ〜」「かわかみようちえんっていついく?」と言っていた子どもたち。「川上幼稚園に遊びに行くよ!」と伝えると…ポカ〜とした表情。突然のことに驚いたようです(笑)園内に入っても圧倒されて遊びだせないかと思っていたら、あっという間にその場から離れて川上幼稚園のお友だちの中に入っていました。ホールで体を動かしたり、ドールハウスで遊んだりと一人ひとり楽しい時間を過ごすことが出来ました。最後には一緒に礼拝を守りました。みんなで♪おほしがひかる♪の讃美歌を歌い、お祈りをしました。一緒に歌える讃美歌があると、「離れていても神さまに守られているんだな〜」と感じることが出来る子もいたと思います。最後に「あいこうなんぶようちえんにもあそびにきてね!」と子どもたちからスツと出た一言に嬉しさを感じました。

少しずつ、小学校へ向けて子どもたちの意識も変わってきているようです。話し合いの時間も持つようになり、友だちの話を聞いたり、意見を言ったりすることも出来るようになってきました。今はお楽しみ会について相談しています。思いを少しずつでも実現できるようにしたいと思います。

氣谷 彩子